

## Android Studio インストールマニュアル(Windows, Mac 対応)

2023 年 9 月 17 日更新

### 【Android Studio のバージョンについて】

- Android Studio のバージョン番号体系が変更されました。
- 以前の番号体系との関係は以下のリリースノートを確認してください。

<https://developer.android.com/studio/releases>

- 本稿執筆時の最新版は Giraffe | 2022.3.1 です。

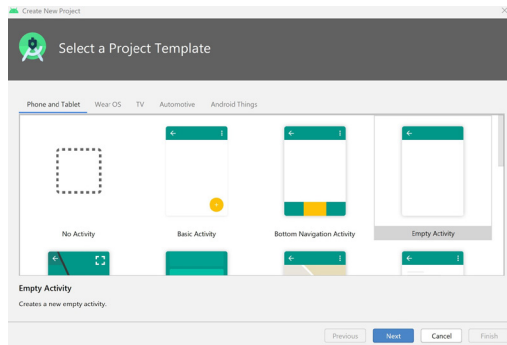
### 【Android Studio のインストール】

<https://developer.android.com/studio/install?hl=ja>

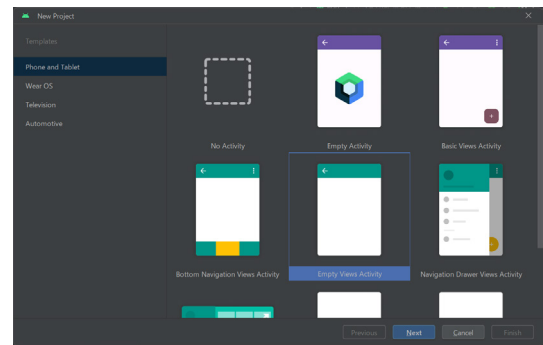
- 上記のページの内容に沿ってインストーラをダウンロードして実行し、インストール作業を行ってください。
  - インストール時はインストーラの指示と上記ページ内の動画を参考にしてください。
  - Mac にインストールする場合は上記ページ内の目次から Mac を選択してください。
  - Mac 版には、CPU に Intel 製を搭載した機種向け（Mac with Intel chip）と、Apple M1 チップ（Apple Silicon）を搭載した機種向け（Mac with Apple chip）があります。自身の端末にあわせて適切なものをダウンロードしてください。Apple M1 チップ用の Android Studio を利用するには、予め Rosetta 2 が必要になるかもしれません（Preview 版で確認済み、最新版では未検証）。
- インストールに際して大量にファイルをダウンロードするため、高速なネットワークに接続した状態でインストール作業を行ってください。初めてプロジェクトを作成する際は、プロジェクト作成に必要なファイルのダウンロードなどが実行されます。常時、ネットワークを利用するため従量課金制のネットワークでの利用は推奨できません。

### 【プロジェクトの作成方法】

- 開発環境の動作確認のためにプロジェクトを作成します。この作業は、実験の最初の作業と同等です。
- 新規プロジェクトの作成をすると図 1 の画面に移るので **Empty Views Activity** を選択してください。なお、図については Android Studio のバージョンによってデザインが変更されていることがあります。
- Project Template を選択すると図 2 の画面に移るので任意の Name, Package name, Save location など必要な項目を入力してください。
  - 課題で Name や Package name に内容に指示がある場合はそれに従ってください。
- Language は最初 Kotlin が選択されているので **Java** に変更してください。
- Minimum SDK は API 23: Android 6.0 (Marshmallow) を推奨します。
  - 自身が所持している実機端末の API Level が 23 より小さい場合（Android OS のバージョンが 6.0 よりも古い場合）は、その端末の API Level に合わせてください。

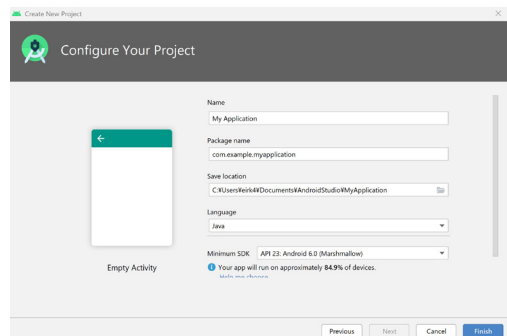


(a) バージョン 4.0.1 の画面

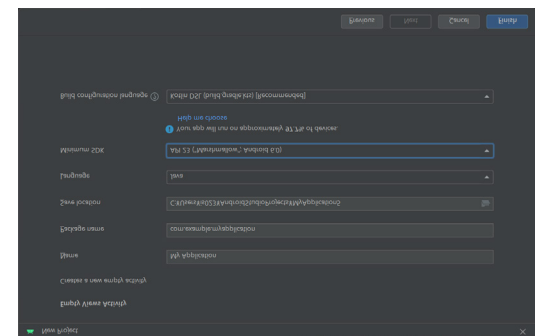


(b) バージョン 2022.3.1 の画面

図 1 Select a Project Template の画面 (バージョンによって画面が異なる)



バージョン 4.0.1 の画面



バージョン 2022.3.1 の画面

図 2 Configure Your Project の画面

## 【AVD (Android Virtual Device) を用いた実行】

<https://developer.android.com/studio/run/managing-avds?hl=ja#createavd>

- ・ 上記のページの内容に沿って AVD Manager 内にエミュレータを作成してください。
  - API Level は 23 以上のものにしてください。
  - System Image の選択では、「Recommended」タブに表示されるイメージを利用することを推奨します。
  - Mac M1 の場合、「x86 Images」タブに表示される x86 や x86\_64 イメージは利用できないので注意してください。
  - Mac M1 の場合、予め AVD が付属している場合があります (Preview 版で確認済み)。その場合は、付属のものをそのまま使うことを推奨します。

<https://developer.android.com/studio/run/managing-avds?hl=ja#emulator>

- ・ 上記のページの内容に沿ってエミュレータを起動し、Android Studio で作成したアプリを Run するとエミュレータ上で実行されます。